

平成29年度地域活動支援助成事業

すべての子どもたちを大切に育むための

「性」と「いのち」の学習会

【いのちの根っこを育てる会】

沖縄県は子供の貧困率が約3割にのぼり、全国でもワーストワンとの結果をうけて、昨年、県内では内閣府の特別予算によって120か所の「子ども食堂」が開所しました。ところが、せっかく立ち上がった「子ども食堂」に子供が来ない、子供のどう接したらいいのかわからないといった、支援するおとなたちのド惑いの声もあり



げる」の著者「上間陽子氏」と沖縄子ども総合研究所所長「堀川愛氏」をお招きして、沖縄の子どもたちをとりまく現状についてクロストーク会を実施しました。



この上映会をきっかけに県内の居場所事業を行っている団体や沖縄県子ども未来政策課などの関係者とも情報交換の場を持つことができたことは、大きな収穫であり、今後さらなる活動が期待されます。



幼児期からはじめる性教育ということで、「いのちの教室 in うるま市」を2回開催。参加体験型のワークショップで支給のゆりかご体験や産道トンネルをくぐりぬけるお産の追体験で、親子の関係性がより深まりよかったなど、参加した親子から喜びの声がありました。

ました。せっかく立ち上がった「子ども食堂」を子どもたちが「安心できる居場所」としてより良いものにしていくために、大阪釜ヶ崎で38年続く「子どもの里」のドキュメンタリー映画「さとにきたれえやん」の上映を実施、併せて「裸足で逃

